

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.20
平成28年2月9日

6年生との会食を通して

1月25日(月)から始まった、校長室での6年生児童との会食が終わりました。この会食を通して、6年間の思い出、中学校への豊富、将来の夢、担任の先生についてなど、同じ質問内容を一人一人に聞いて、卒業する6年生児童とのふれあいの場としていきます。

6年間の思い出では、修学旅行、野外教室、校外学習などの答えが多くあがりました。「担任の先生について、どう思いますか」という質問には、「優しい」「おもしろい」「授業が分かりやすい」「明るくて、元気な先生」など、担任の先生にとってうれしい答えが児童から返ってきました。

また、1年生～6年生までの担任の氏名を、ほとんどの児童が、正確に答えることができました。低学年で担任してもらった先生の名前も忘れることなく、児童の記憶に残っているということは、教師にとってうれしいことです。

「早く、中学生になりたいですか」という質問には、「いいえ」の答えが多かったように思います。

温かい桜小学校や先生、友だちとの別れは寂しいものですね。



全校朝礼の話－2／8(月)

先週、新聞やテレビで、朝食を毎日取る人に比べ、朝食回数が、週に0～2回と答えていた人の中で脳出血になった人は1051人で、毎日取る人に比べ脳出血になる確率が36%高いということを報道していました。そして、欠食の頻度が高いほど危険性は高まったということも発表されていました。これは全国8県に住む45～74歳の男女8万2772人を1985～2010年まで追跡調査したデータにもとづくものです。

みなさん、今朝、朝ごはんを食べてきた人(ほとんど)

- 朝ご飯にご飯を食べてきた人(約4割)
- パンを食べてきた人(約6割)
- 味噌汁を食べてきた人(約4割)
- 牛乳を飲んできた人(約6割)

以前から、「早寝・早起き・朝ご飯」は、体の成長だけでなく、心の成長にも大いに関係しますし、さらには学習の定着や体力の向上にも深く関わりのあることが、専門家の研究によって伝えられていました。

しかし、先週の報道により、朝食を取らない人が、脳出血をおこす確立が高いことを知り、ますます朝食を毎日取ることの大切さが分かりました。

みなさんは、朝食を欠かさず食べて、体も頭(脳)も心も、健康な人になってください。

